

地元と災害協定を結ぶ岩崎氏 ドローン講習・実演会賑わう

山梨県写真館協会・通常総会

山梨県写真館協会は7月5日に第91回通常総会を開催。今回実施した甲信越ブロック写真コンテスト・山梨県営業写真コンテストの表彰式に続いて、当協会の会員でもある笛吹市・岩崎写真館の岩崎利彦氏による講習会、「あなたの知らないドローンの世界」を開催した。ここ数年で急速に進展している小型無人航空機「ドローン」の業界事情、幅広い業界での活用事例、そして撮影機能や魅力、また写真業界での今後の活用方法などを語り、大いに盛り上がった。

岩崎氏は山梨県内ではドローン先駆者の存在で、2013年よりドローンを導入。当時の山梨県内の大雪被害の実態などを上空から撮影、被害状況の確認などに貢献した。今年3月には地元笛吹市と災害協定を結び、現在は大災害時には飛行させ、いち早く被害状況の把握ができるよう、日々飛行訓練に力を注いでいる。

講習会では、最新ドローンの性能から4K動画・2000万画素の静止画の撮影が可能でカメラ情報、さらに飛行中の障害物への衝突を回避したり、バッテリー残

量が少なくなると離陸地点へ戻るなど墜落の確率を軽減する機能を有する最新ドローンを紹介。そればかりでなく、操縦ミスで起こりうる墜落の危険性の実例や2015年12月より施行されている航空法にも触れたほか、便利さと同時に重大な事故を引き起こす危険性もあると注意を喚起。「人の上空では飛ばさないなどマナーや安全

性に配慮した使用が大切」と呼びかけるなど詳細にわたる内容に参加者は引き込まれた。

講習会後半は、総会会場・玄関前で参加者全員のドローンでの集合写真撮影、その後マイクロバスで近くのグラウンドに移動し、実際の飛行デモンストラクションを実施。岩崎氏は、ここでアプリ内にある様々な機能を使った飛行を披露した。

被写体を認識し追いかけて続ける機能や、ジェスチャーでドローン・カメラがシャッターを自動で切ってくれる機能の



講演する岩崎氏。



最高飛行高度は150m未満。飛行するドローンは小さく見える。

素晴らしさ、そしてリアルタイムに送信機のタブレットに送られてくる映像のクオリティ、飛行高度150m程度に飛行させた時のドローンに大きさに参加者一同から驚きの声が上がった。

富士フィルム営業写真コンテスト速報

荒木敬介氏が金賞受賞！

福岡市・はこぎき写真館

2017富士フィルム営業写真コンテストの入賞者がこのほど発表され、金賞には福岡市・はこぎき写真館の荒木敬介氏の「未生STYLE」が受賞した。応募総数は9,818点。詳細次号掲載。



2017年富士フィルム営業写真コンテスト上位入賞結果（※はアルバム部門での受賞作品）

賞	題名	氏名	住所	所属写真館名
金賞	「未生STYLE」	荒木 敬介	福岡県福岡市	はこぎき写真館
銀賞	「刻む」	松村 賢浩	神奈川県横浜市	まつむらフォトスタジオ
	※「フォトウェディング」	天野 有祐	愛知県名古屋市	天野写真室 ETHOS photograph
	「うれしい日」	野口 博幸	岡山県岡山市	Photo Studio・NOGUCHI
	「SIMON」	児島大志郎	鹿児島県日置市	(有)児島写真館
銅賞	「青春」	仲嶺 真弥	沖縄県与那原町	(有)日光写真館
	「お気に入りの帽子と」	福田謙一郎	北海道北見市	(有)福田写真館
	「仲良しな二人」	渋谷 知宏	秋田県由利本庄市	シブヤスタジオ
	「板金屋さん」	吉田 和正	茨城県牛久市	(有)吉田写真館
	「Accordionist」	堤 賢一	東京都中央区	日本橋高島屋写真館
	「思い出いっぱい」	滝澤 一浩	長野県上田市	タキザワ写真館
	「季節はずれ」	下宮 伸一	長野県駒ヶ根市	Simomiya photo office
	※「Love Together」	田口 敏生	大阪府大阪市	カメラの東光堂 撮影部(フォトスタジオMAG)
	「もうすぐ」	吉田 弦矢	福岡県福津市	(株)イナバ写真館
	「絵画のように」	河村 賢	熊本県熊本市	(株)美光写真 KKRホテル熊本写真室
「フレンズ」	内田 尚吾	大分県佐伯市	(有)ウチダ写真館	
審査員特別賞	※「Wedding Story」	藤沢 信	大阪府東大阪市	(株)たむらベルクラシック大阪写真室